

無料低額診療のご案内

当院は、社会福祉法第2条に規定する第2種社会福祉事業として、無料または低額な診療を行う医療機関です。



治療費の支払いにお困りの方は、本館1階「がん相談支援センター／医療相談・看護相談室」の医療ソーシャルワーカーにご相談ください。

栃木県からのお知らせ
救急電話相談のご案内

子どもの救急電話相談(概ね15歳未満)

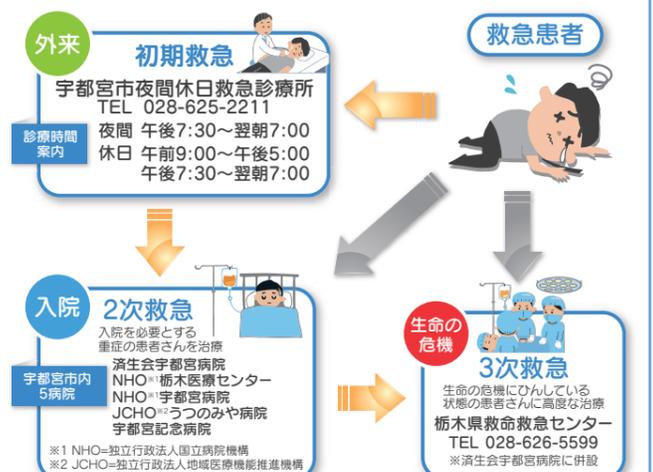
☎028-600-0099 局番なしの #8000
月～土 午後6:00～翌朝8:00
日祝日 午前8:00～翌朝8:00(24時間)

大人の救急電話相談(概ね15歳以上の方)

☎028-623-3344 局番なしの #7111
毎日 午後6:00～午後10:00

急な病気やケガなどで心配な時にご利用ください。経験豊富な看護師が家庭での対処法や、救急医療の受診の目安などをアドバイスします。

栃木県からのお知らせ
救急医療体制のお知らせ



当院の直近3カ月の診療実績

	令和2年9月	令和2年10月	令和2年11月
延外来患者数	29,226人	30,877人	28,110人
実入院患者数	1,384人	1,422人	1,361人
平均在院日数	12.4日	12.8日	12.5日
救命救急センター患者数	1,161人	1,146人	1,071人
救急車台数	550台	537台	470台
手術件数	585件	679件	573件

一般外来診療のご案内

受付時間 8:30～11:00
(一部、受付時間が異なる診療科がございます)

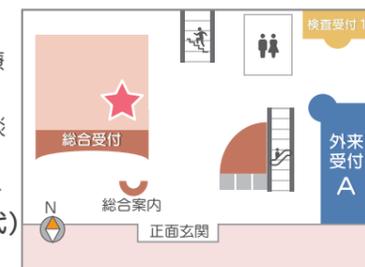
※当院を初診で受診する際は、まず、かかりつけ医に受診し、専門的な治療や検査または入院などが必要とされた場合に、紹介状を持参していただきますようお願いいたします。初診時に紹介状がない場合には、**選定療養費5,000円(税込)**をお支払いいただくこととなりますので、ご理解のほどお願いいたします。

がん相談支援センター
医療相談・看護相談室のご案内

がんの診断を受けた患者さんやそのご家族に対し、専門のスタッフ(専門・認定看護師、医療ソーシャルワーカー)がサポートいたします。「がんと言われて辛い…」「こんな時どうしたらいいの…」「今後のことを考えてほしい…」誰かに聞いてもらいたい…こういった不安やお困りのことがありましたら、どうぞお立ち寄りください。

▶当院は、「地域がん診療連携拠点病院」です。電話と面談による相談をお受けしております。

☎028-626-5500(代)
【内線】3245



リレーエッセイ

院長 野間 重孝

新年のご挨拶

皆さま、明けましておめでとうございます。昨今、小林健二先生のご勇退を受け、院長を務めさせていただいております。文字通り目まぐるしい一年の中、関係の皆さまにもご挨拶する機会を持てなかつたことを、まずお詫び申し上げます。

思い返せば、昨年はまさしくコロナ一色の年でした。現在でも、まだコロナは収束の兆しをみせておりません。一刻も早い収束を祈るものです。コロナ後の世界はまだ見えていません。しかしコロナ以前の社会とは明らかに変わったものになるのではないかと考えられます。

ここでは医療のことに限らせていただきますが、国の防疫体制の整備、病院の役割分担、実際にパレンデミックが起こった場合の医療関係者・病棟の確保、また民間宿泊施設の協力など話し合わなければならぬ問題が数多く明らかになりました。ここでは政治的な問題を論じることは控えませんが、災いを転じて福となすという言葉があります。わたしたち人類はコロナを100年に一度の厄災と考えるながらも、一方で然るべき将来を見据えて今新たな努力を始める時に立っているのではないのでしょうか。

一昨年10月に当院は一連の大増改築を完成させることができました。その間3年にわたり、皆さまにはいろいろとご迷惑をお掛けいたしました。新設生済会病院は自信を持って高度急性期病院としての責務を果たしていただける充実した病院になったと胸を張ることができるとは思いません。ご迷惑をお掛けした皆さまにお詫びすると同時に、関係者の皆さまの労をねぎらいたいと思います。ハード面の充実が図れたなら

ば、次はソフト面の充実を図らなければならぬのは当然です。現在コロナ対策とは別途、患者満足度の高い医療を提供すべく、職員一同改善努力を重ねております。一つひとつは地味なものでありますが、それらが合わさったとき、必ず当院の提供する医療を確実に前進させるものになると信じます。今後も当院は地域中核病院として地域の医療をしっかりと支えて参る覚悟です。皆さまにはこれからもどうか温かいご支援をいただきますよう、お願い申し上げます。

末筆になりましたが、本年が皆さまにとって幸多き年となりますよう祈念し、新年のご挨拶いたします。



ちよこっとメモ 1月31日

晦日正月(みそかしょうがつ)

年末の最後の日を大晦日「おおみそか」と言いますが、1月の最後の日を、晦日正月(みそかしょうがつ)または、晦日節(みそかぜち)と言います。正月に年始回りに行けなかった親戚を訪問する地方があるそうです。他にも、大晦日に蕎麦を食べず、晦日正月に食べる風習の土地や、この日に団子を作って家の戸口に挿す習わしの地域もあるそうです。古の先人たちの鋭敏な感覚は、ことば一つにも垣間見ることができるように感じます。

晦日正月をイベントの一つにとり入れてみてはいかがでしょうか?

編集後記

みやのわ 編集スタッフのわ

あけましておめでとうございます。今年も済生会宇都宮病院をよろしくお願ひいたします。さて、昨年は皆さまにとってどのような一年になったのでしょうか。昨年を振り返ってみると、やはり新型コロナウイルス感染症の話題になってしまっていますね。おうち時間の増加、デリバリーやテイクアウトの需要が急上昇したことによる消費傾向の変化、新しい生活様式など、皆さまの暮らしに様々な変化があったかと思えます。今年こそ、終息の見通しがつき、昨年中止や延期になっていたイベント事が少しずつ復活することを願うばかりです。最後になりますが、「みやのわ70号」をお読みいただきありがとうございます。まだまだ寒い日が続きますので、体調管理にお気を付けてお過ごしください。